

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～



幕別町の「NPO 法人幕別町地域支縁ネット」が運営する2つの施設「宅老所 和（わっか）」と「地域の和 環（たまき）」（緑町）を訪ね、理事長の直江裕子さんから話を伺いました。両施設は民家を使った小規模な宅老所（デイサービス）です。

直江さんは1998年から介護職として札内や芽室町で働いていましたが、2009年に緑町の中古住宅を購入し、「お年寄りが住み慣れた地域で自分らしく生活してほしい」と事業を開始しました。2013年7月には和（わっか）を新築移転し宿泊用の個室も完備。現在2つの施設に合わせて24人が、一緒に昼ご飯を作って食べたり、家庭菜園や散歩を楽しんだりと思い思いに過ごしています。

◆この仕事をしていて嬉しいことは？

◇利用者さんの優しさや生き生きとした表情、また「我が家みたい」「やらせてもらって嬉しい」・・・などという喜びの声やご家族の笑顔。こうした場面に触れる度、何とも言えない幸福感に包まれます。「介助する、される」という関係ではなく、私たちも支えられ教えられたりしながら人の温かさを感じ、共に過ごせることが励みになっています。



「宅老所 和（わっか）」での様子

◆今、関心を持っていることは？

◇今後、介護保険制度がどのようなになっていくのか、私たちも含め利用者さんにとっても関心事だと思います。また、介護職の人材不足は今後の大きな課題であり心配事です。

◆町に望むことは？

◇介護保険制度で支えきれない部分を、町独自の対策も考えてほしいと思います。

◆今後の抱負は？

◇これからも利用者さん本位を基本姿勢とし、長年の人生の中で培ってきたものを大切に、その人らしさとは何か、尊厳とは何かを考えながら、利用者さんやご家族、職員一人一人の幸せを目指していきます。

（聞き手 岡本眞利子 内山美穂子）

編集後記

改選を受けて、新しくなった広報広聴委員会が初めて発行した「議会だより」はいかがでしたでしょうか？

広報広聴委員会は9人の議員で構成されていますが、そのうち5人が新人議員というフレッシュな顔ぶれです。当面、前委員会の編集手法を踏襲しながら経験を積み、今後さらに町民にとって幕別町議会が身近なものとなるよう、全力で議会内容をわかりやすくお知らせしていく決意です。

どうぞお気軽にご意見・ご要望をお寄せください。よろしくお願いします。

谷口和弥

議会広報広聴委員会

委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子

若山和幸 小島智恵 東口隆弘

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。

議会を傍聴して

札内北町 高橋 康江

私はこれまで、町民が気軽に議会を傍聴できることを知りませんでした。6月23日、知人に誘われ初めて議場に入りましたが、想像していたより狭く、行政の方と議員の方との話のやり取りが良くわかりました。

目の前で幕別町が抱える大切な問題について議論が交わされ、真剣に聞かせてもらいました。今後どういう形で私たちの暮らしに反映されるのか、とても興味深いものでした。

子どもたちにも生の議会を傍聴させてあげられたら、将来の町についてもっと関心を持って考えてくれるのではないかと切に思い、議場を後にしました。

